



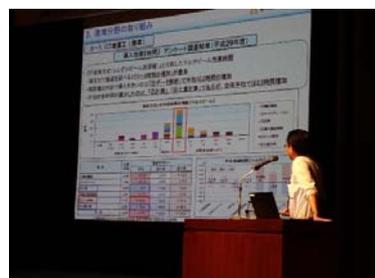
「第20回新潟技調講演会」が盛況に開催されました！



〈高橋所長による挨拶〉



〈井山室長による基調講演〉



令和元年9月26日（木）、新潟市民プラザ（NEXT21、6階）において「第20回新潟技調講演会」を開催しました。

本講演会は、北陸の海・空のみなとづくりをわかりやすく伝え、市民や港湾関係者の皆様になんとへの関心と理解を深めて頂くために毎年開催しており、今回は115名の方に参加頂きました。

高橋所長の挨拶の後、国土技術政策総合研究所 井山繁 港湾施工システム・保全研究室長より「港湾分野におけるi-Constructionの動向」と題した基調講演が行われ、港湾分野における「ICT 浚渫工」「栈橋 CIM」等の取組の現状、効果、課題などを中心にご説明頂きました。

「ICT 浚渫工」の取組みは、まだ従来工法との比較した初期段階であり、導入初期段階特有の費用と時間増が解消されていない状態であることや、測深精度や点群密度のマニュアルの未整備、各官庁の提出書類に重複、不統一等の課題があること。また、費用・時間の削減に加え安全性・品質の向上を目指し、基準緩和、提出資料削減に向けて、試算、アンケート等により検討中であることが説明されました。「栈橋 CIM」は、試行業務の結果を分析し、次年度以降の適切な対象構造物、効率的モデル作成等につながるよう検討を進める等の説明がありました。

基調講演の後、事務所業務報告として、岡元技官から「社会的ニーズに配慮した港湾業務艇の設計と建造」、百海技官から「埋立護岸における吸い出し防止対策に関する研究」と題した報告を行いました。

今年も多数の方にご参加頂き、盛況に開催することが出来ました。



〈技調事務所からの報告〉



〈会場の様子〉



〈質問の様子〉